



総合センター前庭での記念撮影

長寿おめでとうございます

これからもお元気にお過ごしいただきますよう
お祈りいたします

豊かな経験と知恵を生かして

長寿を祝う会

好天に恵まれた八月二十九日、総合センターを会場に、長寿を祝う会が開催されました。

七十五歳以上の方々と、うち百四十五名の皆さんが元気な姿で出席いただきました。

今年の対象者は三百六名の

式典では、「豊富な経験と知

東				西			
横網	前後	シエ	(99)	香川	成	香	西
大関	高橋	ハナ	(98)	旭浦	美	沢	川
関脇	鍛治川	ミュキ	(95)	1町内	香	3町内	内
小結	糸田	菊江	(94)	5町内	成	5町内	内
前頭	佐藤	フサエ	(94)	1町内	成	4町内	内
2	松倉	トメノ	(92)	成	美	財	旭
3	佐伯	フサ	(92)	美	沢	旭	浦
4	佐々木	スヅ	(92)	5町内	東	6町内	内
5	安原	ミエ	(91)	6町内	田	6町内	内
5	奥野	勝郎	(91)	5町内	原	4町内	東
7	原	タカ	(90)	財	田	3町内	内
8	村上	春恵	(90)	大	原	3町内	内
9	宮崎	教秀	(90)	5町内	田	3町内	内
10	安藝	イト	(90)	財	田	3町内	内
11	岩原	八重子	(89)	成	香	3町内	内
12	高橋	喜三郎	(89)	6町内	川	岩	屋
13	村松	三治	(89)	香	川	成	香
14	菊地	スミ	(89)	3町内	美		
15	上里	義美	(88)	美	沢		

平成十七年度 長寿番付 洞爺村

【※ 8月29日(長寿を祝う会) 現在の満年齢】



祝宴でなごやかに語り合う皆さん

恵をお借りしたい。ますます長生きされるよう、お祈りします」とのお祝いや、「開拓の歴史を受け継がれた皆さんの意思を地域づくりの指針としたい」との挨拶を受け、出席された皆さんは、互いに健康を喜び合っていました。

また、白寿、米寿、喜寿を迎えられた皆さんや満七十五才以上で在村五十年以上の皆さんに感謝状や記念品が贈られました。

また、ステージでは長寿の皆さんを祝って、洞爺小学校や洞爺保育所の児童、幼児による遊戯や成香小学校鳥井校長らのマンドリンとピアノの演奏、フラワービーンズの皆さんの合唱などがあり、出席された皆さんを喜ばせていました。

なお、白寿、米寿、喜寿の皆さんと七十五歳以上で在村五十年以上の皆さんは、次のとおりです。(敬称略)

【白寿】高橋ハナ、櫻井トヨ

【米寿】大西積善、上林ふみ、竹村アサノ、森川政雄、安達ユキノ、成田政義、白石ミエ子、四宮アイ子

【喜寿】大西疏、矢野春子、以西キヌエ、尾形勝子、千葉ハル、傳とし、菅原市郎、佐長照子、千葉孝、大宮等、木村郁子、浅田アサコ、土橋美津子、宮内シズエ、大西令子、越前健、菖蒲川忠、根本賢次郎、小林良子、大廣達、中川進一、佐藤ケエ子、西岡ミツエ、及川トミ子

【在村五十年】森川政雄、仲本フサエ、千葉孝、浅田アサコ、宮内シズエ、菖蒲川忠、根本賢次郎、小林良子、大廣達、中川進一、佐藤ケエ子、西岡ミツエ、及川トミ子、岩淵芳子、伊藤フジ、石川達子、毛利岩吉、大西富美子、根本克子、菊地ハツエ

七夕飾りなど楽しむ とうや子ども共和国



子ども会ごとに七夕飾りを競う

八月七日、総合センター駐車場を会場に、第二十一回とうや子ども共和国が開催されました。

今年も地域の各団体の皆さんの協力により、夏休みの一日を大勢の小中学生や保育所児らが集い、楽しく過ごしました。



スーパーボールすくいに集まった子どもたち

当日は、青年らが集めた柳の木に、子ども会毎に子どもたちの願い事を記した短冊や色とりどりの紙などで七夕飾りをしました。

また、子どもたちは、共和国のお金の「レーク」をもらって流しひやむぎや焼きそば、綿あめ、ホットドッグなど好みの食べ物を買って食べ、射的などのゲームを楽しんで夏休みの一日を、友達とともに有意義に過ごしました。

八月に二度の大雨

前線通過の影響

八月二三日と、二十一〜二十二日にかけて、総雨量が百ミリを越す大雨となり、村内各地で、被害がでました。

また、災害の少ない本村に

八月二三日と、二十一〜二十二日にかけて、総雨量が百ミリを越す大雨となり、村内各地で、被害がでました。

両日も活発化した前線の影響により断続的に大雨が降り、一〜三日の総雨量は百十五ミリ、二十一〜二十二日には百八五ミリ（気象情報シ

STEMMICO S調べ）と、ほぼ豪雨といって良いほどの雨量となりました。

とって今回の被害は大きく、崖くずれ、土砂流出、路肩決壊などの土木被害が九件、農業被害が十七件にものぼりました。

これから台風の季節となり、雨、風による災害の危険性が高くなりますが、気象情報等に留意され、降雨時には崖、河川等には近づかないなど、十分に注意していただきたいと思えます。

豪雨：一時間または三時間の少なくとも一方が警報基準を超え、かつ二十四時間の警報基準を超える大雨。



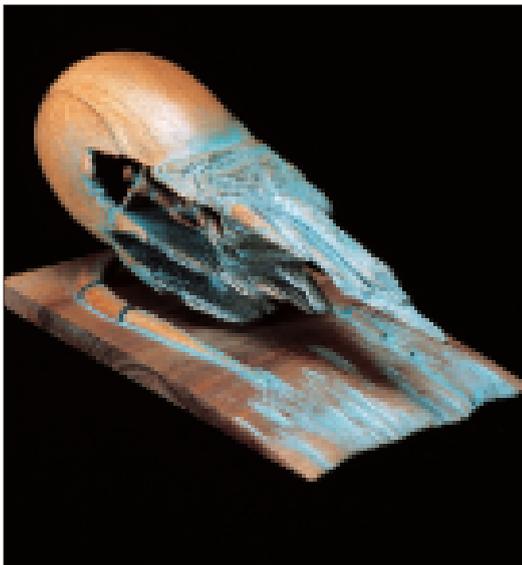
崩落した崖、土砂と木は川と道路をふさいだ

洞爺村国際彫刻ビエンナーレ2005 受賞・特別賞作品

第7回目を迎え、村としては最後の国際彫刻ビエンナーレ。

受賞・特別賞に輝いた5つの作品を紹介します。

今回の審査委員長である笹野尚明氏は受賞作品を次のように解説されています。



大 賞

作家名 キフ・パネッテ (52) ルーマニア
作品名 TRAVELLER WORLD
材 質 木 (堅木、オーク) (40×20×19cm)

旅人たちは雲に抱かれて空を行くのでしょうか。はたまた、軟体動物に身をまかせ水中の生命をさぐるのでしょうか。それはスペースシャトルでもなければ海中探査艇でもない。そこに作者の宇宙観、自然観が潜んでいるようです。木という素材を越えて速度感、力動感も表現されています。この形態の構成力が高い評価を得ました。



準 大 賞

作家名 瀧川 比呂史 (42) 日本
作品名 Personal Library
材 質 木、皮、紙、カルスピー、布、粘土 (18×23×40cm)

品のある洒落、親密感のある作品です。ボックスアートに連なる不思議な雰囲気、手で触れて楽しみたい衝動にかられます。生活の匂もただよいます。色の配列が楽しく静かな空間を想起します。本の方から語りかけてくるマイナーな書齋、気張らない作風が評価されました。



優 秀 賞

作家名 キティチャロエンウィワット・アリヤ (37) タイ
 作品名 “FLYING IN THE BOX”
 材 質 ステンレス、樹脂、アクリル、木 (20×30×38cm)

与えられた餌を懸命に3本の脚で守る籠の鳥。自由の身でありながら取ることも出来ない餌を狙う鳥。諧謔と皮肉で貫いたイソップ物語の彫刻版とでも言いたい多弁な作品です。メッセージが具体的で表現にあいまいさがなかったことが共感をよびました。

F 氏 賞

作家名 小野寺 直彦 (38) 日本
 作品名 次元境界上の祭禮
 材 質 銅、真鍮 (12×40×24cm)

村民の投票で決められます。審査員による各賞決定後の56点の中から選ばれました。静と動が一つの屋根の下に集っています。踊り、祭り、祈りが解放的な雰囲気の中に高まっていくようです。モンスーン型気候帯に住む人々の緩やかなゆるしの世界を想起しました。



伊達信用金庫賞

作家名 松本 薫 (53) 日本
 作品名 Cycle-90°「風の子感」
 材 質 ジュラルミン、ベアリング、石 (12×22×40cm)



三つの円柱(部品としては五つ)。動く支点はただの二つですが動きは複雑に見えます。重い金属柱が弾みで動くように見えますが、右の台座を含めてもわずか1.3Kg、見る人の錯視と錯覚をたくみに読んだ「動く彫刻」。新しい空間を獲得する四次元世界の彫刻を見せてくれます。電気的動力にたよらない発想が入賞のポイントになりました。

並河萬里氏撮影の洞爺村写真集発行などの 補正予算を原案どおり可決

第四回洞爺村議会臨時会が、八月五日に開かれました。会期を一日と決めた後、村長が行政報告を行い、並河萬里氏撮影洞爺村写真集印刷製本費等による一般会計補正予算の議案一件が原案どおり可決、承認されました。

村長行政報告

▽洞爺村国際彫刻ビエンナーレ2005第二次審査結果について

去る七月二十六日、洞爺村国際彫刻ビエンナーレ2005の第二次審査が洞爺村総合センターで開催され、大賞などの受賞作品が決定しましたのでご報告いたします。

また、今回は、ビエンナーレに関する村民理解向上の一環として、審査員各氏の協力を得て審査を公開するとともに審査委員長である笹野氏から審査の過程を参観者の皆さ

んに随時説明いただいたほか、得票数をその都度、黒板に書き込み公表するなど、参観者には受賞作品が決定するまでの過程を十分理解いただけるよう配慮いたしました。

公開したことを「大変よかった。」とする参観者の声が聞かれ、ビエンナーレに関する村民理解向上に大いに役立つものと考えております。

なお、六十作品を対象にした第二次審査の結果、大賞ほか各賞の受賞作品は次のとおりとなっております。

(四)五ページをご覧ください)



行政報告を行う菊地村長

▽「姉妹町村盟約締結三十周年記念事業」について

洞爺村と財田町の間で計画しておりました「姉妹町村盟約締結三十周年記念事業」の実施状況についてご報告いたします。

財田町で計画された「姉妹

町村盟約締結三十周年記念親善交流団」の第一陣五十名は、安藤財田町助役を団長として六月二十五日来村し、同日夜の「姉妹町村交流会」及び、翌二十六日の「洞爺村産業まつり」に参加し、村民との交流を深めました。

さらに、近藤町長を団長とする第二陣五十名が七月三十日来村し、同日夜の「姉妹町村交流会」に引き続き「洞爺夏まつり」の会場で村民との交流を深めていただきました。

夏まつり会場では、一昨年財田町から贈られた「太鼓台(ちようさ)」が参加した勇壮なパフォーマンスを飾る「太鼓台(ちようさ)」の差し上げ時には、財田町民一行から大きな歓声が上がっていました。

また、「姉妹町村交流会」の席上、姉妹町村盟約締結三十周年を記念して、洞爺村長と財田町長が互いに記念品贈呈

の目録を交換し、洞爺村からパークゴルフ用具百セット一式と記念樹が、財田町からは記念樹がそれぞれ贈られました。

一方、洞爺村は「姉妹町村三十周年記念事業」として、村民ツアー及び獅子舞里帰り事業など、本年十月、十一月にかけて実施する予定であります。

▽道道洞爺公園洞爺線の崩落事故について

平成十七年七月二十八日に道道洞爺公園洞爺線の丸山付近において発生しました法面(コンクリート吹き付け法面)崩落事故につきまして、現在、室蘭土木現業所により復旧工事が実施されております。

なお、復旧工事の実施に伴い、道道洞爺公園洞爺線は、洞爺村字岩屋から壮瞥町字仲洞爺までの一・三kmの区間が次のとおり通行止めとなつ

ております。当分の間、村民の皆さんには、ご迷惑をおかけしますが、ご理解ご協力をお願いするものであります。

○通行止め区間

道道洞爺公園洞爺線

洞爺村字岩屋から壮瞥町字仲洞爺まで 一・三km

○通行止め期間

平成十七年七月二十八日午前十一時三十分から平成十七年八月七日（見込み）まで

補正予算

▽平成十七年度洞爺村一般会計補正予算

歳入歳出予算それぞれ一〇、九八三千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ一、五二二、三〇九千円とする。
(並河萬里氏撮影の洞爺村写真集発行及び役場前庭野外彫刻移設工事に伴うものです。)



こんな事業に 取り組んでいます

総務課

姉妹町村盟約締結30周年記念交流事業

民間交流ツアー(香川県財田町訪問)の参加者を募集します!

今年、昭和50年4月1日に香川県財田町と姉妹町村の盟約を締結してから30周年となり、財田町とはこれまでに様々な交流を通じて絆を深めてきたところです。

村ではこの度、姉妹町村盟約30周年を記念し、交流事業として民間交流ツアー(香川県財田町訪問)を企画いたしましたので、参加者の募集を行います。

ご家族やお友達などお誘い合わせのうえ参加してみませんか。

☆民間交流ツアー日程 3泊4日(日程表のとおり)

☆募集要領

- 1 参加資格 洞爺村に住所を有する個人で20歳以上の方
- 2 募集定員 50名
募集定員を超えたときは「くじ」により参加者を決定します。
- 3 受付期間 平成17年9月15日(月)午前8時30分から
平成17年10月14日(金)午後5時15分まで
ただし、土曜日、日曜日、祝祭日は受付はいたしません。
- 4 受付窓口 洞爺村役場総務課窓口(認印が必要です)
窓口に備え付けてある申込書に必要事項を記入して提出していただきます。
- 5 参加費用 1名 74,670円
※ただし、この他に旅行雑費(記念写真代、みかん狩り料金、車中飲み物等)として、若干負担していただくことで考えておりますので、ご承知おきください。
- 6 村助成金 参加報償金として、1名あたり30,000円を助成いたします。
- 7 問合せ先 洞爺村役場総務課企画係
- 8 その他 参加者が決まりましたら、皆さんにお集まりいただき交流ツアー全般に関する打合せ会議を開催する予定であります。

《民間交流ツアー日程表》

<p>11/12 (土)</p>	<p>洞爺村 === 千歳空港 羽田空港 高松空港 === バス 四国村見学 === 栗林公園見学 === 宿泊ホテル(琴平町)へ 立ち寄り === 財田町役場 === 交流会 === 琴平町【泊】 歓迎 環の湯 セレモニー 川船楼</p>	<p>朝食： 昼食： 夕食： 交流会で 夕食となり ます。</p>
<p>11/13 (日)</p>	<p>琴平町 === 財田町内視察・みかん狩り === 豊浜ちょうさ会館 (ホテル) 交流事業 見学 === 琴弾公園(銭形砂の浜見学) === 高知【泊】</p>	<p>朝食： 昼食： 夕食：</p>
<p>11/14 (月)</p>	<p>高知 === はりまや橋 === 桂浜 坂本龍馬記念館 === (ホテル) 日本サンゴセンター === 佐川 === 四国カルスト === とべ 砥部焼窯元見学 === 道後温泉【泊】</p>	<p>朝食： 昼食： 夕食：</p>
<p>11/15 (火)</p>	<p>道後温泉 === 石手寺 子規堂 ^{かすり} 絣会館他 === 松山城 === (ホテル) 松山空港 羽田空港 千歳空港 === 洞爺村 バス</p>	<p>朝食： 昼食： 夕食：</p>

※添乗員が付きます。

※四国内の移動はバスを予定しています。



品目横断的経営安定対策について

新たな食料・農業・農村基本計画において、今後、農業経営に関する国の施策は、認定農業者と一定の集落営農組織に集中的・重点的に実施されることとなり、本村では、その対策として広報7月号で認定農業者制度の活用に向けた取り組み、8月号では認定農業者になるための申請手続きについて掲載し、認定農業者育成・確保に取り組んでいるところです。

今月号では、認定農業者がその対象となり、19年産からの導入が予定される品目横断的経営安定対策についてお知らせいたします。

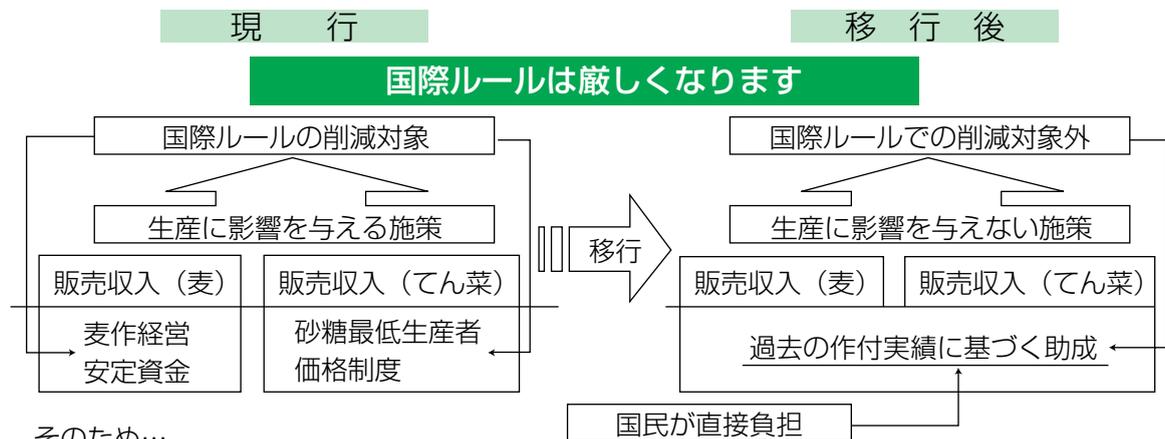
☆品目横断的経営安定対策とは何か

12月に開催が予定されている香港でのWTO閣僚会議に向け、関税の引き下げや国内補助金の制限・削減などが議論交渉されるなど、農産物貿易のグローバル化が進む中で、日本農業の生き残りをかけて農政を転換する必要があります。

このため、19年産から国民が財政的負担を納得できる政策、すなわち我が国農業を支える担い手を支援するための政策として直接支払制度を導入します。

品目横断的政策は、複数の作物を組み合わせた営農が行われている水田作および畑作について、品目別ではなく、担い手の経営全体に着目して実施されます。具体的には、「諸外国との生産条件格差を補うための支援」として、輸入農産物との生産条件格差により、農産物価格が農業経営にとって十分なものとなっていない場合に、その格差について経営単位で支払う仕組みを直接支払いとして導入します。

また、販売収入の変動が経営に及ぼす影響が大きい場合に、「収入・所得の変動を緩和するための支援」として、市場で形成される農産物価格が下落した場合に、経営単位の収入・所得の変動に応じて支払う仕組みです。双方とも対象となる作物は、麦・大豆・てん菜・でん粉原料用馬鈴薯になります。



そのため…

負担を行う国民の理解を得るには対象を担い手（認定農業者・営農集落等）に限定する必要がある

品目横断的経営安定対策は平成19年度から実施される予定となっています。本村では継続して認定農業者の確保・育成についての取り組みを強化いたしますので、認定農業者を目指されている農業者の方はお気軽にご相談ください。（認定農業者制度及び申請方法については広報7・8月号をご参照ください）

クリーン農業の実践

農業技術研修会

八月二日、農業研修センターにおいて、近隣七市町村から五十五名が参加し、洞爺村とうや湖クリーン農業協議会J Aとうや湖の主催で、農業技術研修会が行われました。講師には、株式会社AML 農業経営研究所の取締役所長 武田 健氏を招き、「土づくり



講義を真剣に聞く参加者

と施肥改善による生産力の強化」を演題に講義が行われ、土壌分析値を基本とした、施肥改善による適切な土づくりについての方法論などが話されました。

農業者及び関係機関においても更なる学びの機会を得ることができ、今後の農業に期待が持たれました。

地域総出で祝う

大原開拓まつり

八月十日、午後一時三十分から大原小学校屋外グラウンド横にある拓土創始之碑の前に大原地域住民が集い、洞爺村の開拓の一步を印した大原の地の開拓を、先人の努力と豊かな見識を偲びつつ祝う第九回大原開拓まつりが行われました。

まつりは、その後ホロヌツブパークゴルフ場での児童も含む地域住民総出のパークゴルフや合間を縫ってのスイカ割りなどを楽しみ、午後七時からは、大原小学校グラウンド

で盛大に盆踊りも行われ、地域の絆を一層深めあっています。



大原開拓まつりで、あいさつをする矢野自治会長

洞爺夏まつり

盆おどり大会

八月十三日、「洞爺・水の駅」ふれあい広場を会場に、村商工会が主催、とうや水の駅企業組合が主管して、盆おどり大会が行われました。

午後六時三十分より、子ども盆おどりが始まり、村内外の子ども達ら約100人が、やぐらを中心に踊りました。また、パンダやサルを着く



みんなで楽しくおどりました

るみも登場し、特に小さな子ども達には、大人気でした。盆おどりが終わった後は、参加した子ども達にお菓子と花火が配られ、みんなで花火を楽しんでいました。

小学生、

そば打ちに挑戦

財田自然体験ハウス

八月二十四日、財田自然体験ハウスで、苫小牧市立東小学校の五年生と引率者の計五七名が参加し、そば打ち体験が行われました。



小田桐さんの手ほどきを受け、生地をのばす

自然体験ハウスの職員と、そば打ち同好会の方より、そば打ちの説明を受けながら、小学生たちは、十班に分かれ、それぞれの工程をみんなで作って、難しい工程は、手伝ってもらいながら、そば打ちを楽しみました。

最後は、出来あがったそばを茹で、みんなでおいしく頂きました。

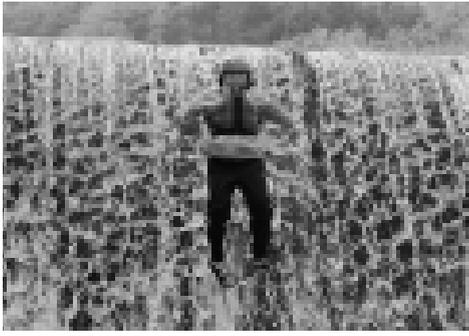
「川で遊ぶ」

キッズベンチャー&
生涯学習セミナー

八月二十日(土) 好天のもと、小学生十名、大人一名、合計十一名が参加し、登別市フォレスト鉱山でキッズベンチャー&生涯学習セミナーが行われました。

十時半にフォレスト鉱山を出発、それから2時間程、川を遡りました。

途中は泳いだり、箱めがねで魚を見たりしながら、気合いを入れて目的地まで行きました。



さあ、勇気を振り絞って

した。

目的地には十二時半に到着。おいしいお弁当を食べた後、砂防ダムからの飛び込みに挑戦、3メートルを超える高さから勇気を振り絞って飛び込み、恐怖とスリルをみんな味わいました。

その後、カジカ釣りも行い、たくさんのカジカをゲットしました。

最後はドラム缶風呂につかって気持ち良く暖まりました。楽しい夏の1日になりました。

パフファミリィ

コンサート

洞爺中学校体育館で開催

八月二十五日、洞爺中学校体育館で、札幌を中心に全道で活躍しているグループ、パフファミリィによる音楽鑑賞会が洞爺村教育研究会と洞爺村教育委員会の主催で行われました。

この鑑賞会には、村内のす



舞台上で音楽に合わせて踊る児童生徒たち

べての小中学生や洞爺高校生、村内保育所幼児に加え、一般の大人も集まり、パフファミリィによる最近のヒット曲や名曲のすばらしい演奏、歌、ダンス、おもしろ話芸、マジック、パントマイムなど多彩で内容豊かなコンサートに、盛んに拍手を送っていました。メンバーは、舞台から降りて、児童生徒たちと手をつなぎ、一体となって踊り歌うなど、コンサートを盛り上げていました。

児童生徒たちは、夏休み明

けの楽しい音楽のプレゼントに体全体で音楽を楽しんでいました。

成香Bチームが優勝

村民ゲートボール大会

八月二十七日、第十六回村民ゲートボール大会が財田スポーツ交流館を会場に、六チーム三十四名が参加して、開催されました。

まず、A、Bブロックに三チームずつ分かれ予選リーグで競い、空きチームが相互に審判を勤めるなどなごやかに



ゲートを通して、しっかりねらってボールを打つ

ゲームが進行し、昼食後に決勝リーグが行われました。

成績は次のとおりです。

◇優勝

成香Bチーム

(佐々木 静雄、西岡 義雄、西岡 テル子、西岡 節子、以西キヌエ、星 一枝)

◇第二位

財田・川東・岩屋Bチーム

(宮武 安子、中野 辰男、田縁 マスエ、南 弘子、南 忠男)

◇第三位

これで委員会

(桑原 敏、鈴木 孝、高橋 正之、高橋 勉、大森 康弘、佐野 修)

記念誌「礎」を発行

洞爺村遺族会

洞爺村遺族会（鈴木孝会長）では、戦後六十年を記念し、記念誌「礎」を発行しました。

記念誌は、戦争体験を風化させず、再び過去の過ちを繰り返さないために、戦争の体験、事実を語り継ぐことが遺族の果たすべき役割との思いから、多くの会員の協力を得て発行されました。

戦中、戦後の会員の思いが綴られているほか戦没者名簿などの資料編を含む三十六ページ程の記念誌となっており、遺族会会員、関係機関に配布されました。



戦中、戦後の体験が綴られた記念誌

なお、現在三十冊ほどの在庫があり、一冊五百円で配布できるといふことですので、戦争体験者や興味のある購入希望の方は洞爺村社会福祉協議会事務局（82・5185）にお申し込みください。

古里の記憶後世に伝える「洞爺村写真集を発刊」

世界的に著名な写真家並河氏に村のイメージアッププロジェクト事業として、平成八年から三年間にわたり洞爺村を撮影していただいた写真は、これまでビエンナーレ事業のポスターなどで活用を図ってきたところですが、来年三月に虻田町との合併を控え、古里洞爺村の記憶を永く後世に伝えようと、並河氏撮影の洞爺村写真集を発刊することとしました。

写真集は全体で百二十ページ程度として、風景はもちろんのこと文化財や歴史的建造物など厳選した作品百十程度を収めることとし、さらに洞爺村資料編として十ページ

程度設け、開拓時代からの現在までの沿革等を掲載する予定です。発刊は今月二十三日から始まるビエンナーレ展覧会に合わせることで現在作業を進めています。発行部数は三千部、一冊二千八百円（税込み）としてビエンナーレ展覧会場受付及び役場（総務課企画係）で販売することとしています。

吹き付けアスベストに関する村内公共施設の確認調査を行いました！

吹き付けアスベスト（石綿）による健康被害が全国で発生し、社会問題となつていふことは、村民の皆さんも既にご承知のことと思います。

村におきましては、去る八月の上旬から中旬にかけて吹き付けアスベストの使用の有無に関する村内公共施設の一斉確認調査を行い、次の施設で吹き付けアスベストの使用を確認しました。

なお、これら確認された吹き付けアスベストにつきまし

ては、除去及び封じ込めなど所要の対策を講ずることとしています。

吹き付けアスベストが確認された施設	吹き付けアスベストが施行されている箇所
洞爺小学校校舎	・消音室の壁及び天上
役場重機車庫	・事務所入り口上部H鋼 ・事務所天上裏H鋼
洞爺村総合センター	・地下機械室の天上 ・集合煙突

誕生 おめでとーございます

三浦 夏維くん

父 隆文さん

母 奈緒美さん

7月23日生まれ

4町内 次男

井谷 美紀ちゃん

父 孝一さん

母 紀恵さん

8月1日生まれ

長女 緑沢

「洞爺湖町」の設置が告示

平成十七年三月三十日、洞爺村と虻田町が北海道知事へ合併を申請しておりましたが、八月十九日付け、官報に虻田町との廃置分合の告示がされました。

この告示により、法律に基づく合併手続きは完了し、平成十八年三月二十七日（月）に新町「洞爺湖町」が誕生することになります。

【総務省告示第九五八号】

町村の廃置分合

地方自治法第七条第一項の規定により、虻田郡虻田町及び同郡洞爺村を廃し、その区域をもって同郡洞爺湖町を設置する旨、北海道知事から届出があったので、同条第七項の規定に基づき、告示する。右の処分は、平成十八年三月二十七日からその効力を生ずるものとする。

平成十七年八月十九日

総務大臣 麻生 太郎